

町立様似図書館システム機器仕様書

1. システム機器調達範囲

- ・クラウド型図書館システム：1 式
- ・バーコードリーダー：1 台（ノート P C へも接続が可能なもの）
- ・レシートプリンタ：2 台（業務用 1 台、読書通帳用シール型対応機 1 台）
- ・Office ライセンス：4 本
- ・UPS：2 台
- ・蔵書点検用機器：10 台（実施時期に合わせて貸与依頼）
- ・ネットワーク関連機器：1 式（ルータ、ハブ等公共図書館・学校図書館の運営に支障がないように整備すること）

2. 図書館システム仕様

- ・業務システム
 - ・ウイルス対策ソフト（ウイルスをチェックし、駆逐するソフトを各端末に搭載すること）
 - ・その他システム運用に必要なソフト
- 詳細は、別紙ソフトウェア仕様を確認

3. 設定要件

- （1）各機器類のスペック等は、町立様似図書館の運営を安全かつ迅速に行うために必要なものとする。
- （2）設定する端末、F W、プリンタ等の機器は図書館システムが正常に動作するように必要なセットアップ及び設置、結線を行うこと。
- （3）町立様似図書館及び様似町立様似小中学校のインターネット回線は、既存回線を利用すること。
- （4）業務用端末をインターネットに接続すること。
- （5）各機器類について、すべての端末が稼働していても遅延なく処理できること。特に、インターネットに関しては、十分なレスポンス性能を維持すること。
- （6）業務用デスクトップ一体型には、DVD - ROM を内蔵し、マウスが接続されていること。また、業務に支障がでないよう見やすい大きさのモニターを採用すること。
- （7）モノクロレーザプリンターについて、すべての業務用端末から出力が可能であること。
- （8）館内 O P A C からのインターネット接続を不可とすること。
- （9）O P A C はタッチ型液晶とし、キーボードも添付すること。また、本来目的以外の利用ができないよう特定アプリケーションの起動制限をかけること。

4. 保守要件

- （1）システムの保守にあたって別途費用がかかる場合は、システム保守費用として算出すること。
- （2）端末、ウイルス対策及びその他業務に必要なエレメント費用については初期導入費に含めるこ

と。なお、エレメンツ等において更新にあたり毎年支払いが必要なものに関しては、事前に提案すること。

（３）調達するパソコンについてはすべて５年間オンサイト修理対応を行うこと。また納入時のイメージを作成し、障害時復旧に伴いディスク交換等再インストールが必要な場合はソフトウェアを含めたイメージ復旧を行うこと。

（４）蔵書点検に利用する機器についてはレンタル対応することとし、最大で１０台を１０日間レンタルする費用を算出すること。作業にあたっては、通信機器等も含めて作業に支障がないようにすること。

（５）クラウド型図書館システムは貸出管理、インターネット蔵書検索共に５年間の利用料を算出すること。

（６）図書館システムのサポートは土曜・日曜祝日も電話にて受け付けること。